

H27年度 地震・津波に対する避難訓練実施計画（生徒用）

長洲町立長洲中学校

1 目的

- ・地震及び津波の恐ろしさを理解し、地震及び津波に遭遇したときの対処法を身につけるとともに、自他の生命を尊重する態度を育成する。
- ・緊急地震速報受信システムを活用した避難訓練を実施することにより、地震発生時に生徒一人ひとりに危険回避能力を育成する。

2 日時 平成27年11月5日（木）10:30～（C日課） 雨天時は延期11月6日（金）
（長洲幼稚園85人、長洲保育園41人、新山地区20人と合同訓練）

※本校だけの避難訓練は11月2日（月）に実施しておく。

3 地震発生場所 （想定）天草沖の有明海・・・津波到達は60分後

4 避難経路及び避難場所 屋上 別紙

5 訓練内容

(1) 学級担任は、今回の避難訓練の趣旨および計画を説明する。（10時30分～10時40分）

(2) ①緊急地震速報がなる。（10時40分）

「緊急地震速報の放送テストです。地震発生震度6、(30秒後)落ち着いて身を守ってください。」

「地震発生震度6、(20秒後)落ち着いて身を守ってください。」

「10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1, 0」「落ち着いて身を守ってください。」

※生徒は、机の下に入り、机の脚を両手で持って身を守る。

②津波発生を通告する。（緊急地震速報後1分経ってから）

(教頭先生が2回繰り返す)

「ただ今、気象庁から津波警報が出されました。津波の到達は60分後です。地域の方々が本校屋上に避難して来られます。生徒のみなさんは、地域の方々の避難誘導にあたって下さい。これは訓練です。津波到達は60分後です。津波の高さは3mが予想されます。」

(3) 担任は、まず静かにさせ、避難誘導の指示と津波到達時刻および津波の高さの再確認をする。

津波到達予想は60分後であるため、11時30分までにはどんなことがあっても屋上に避難しておく事を明確に指示する。

①各学級10人を選出しておき、長洲幼稚園（保育園）の避難の支援を行う。

・長洲幼稚園まで走って行き、園児の避難誘導を手伝う。

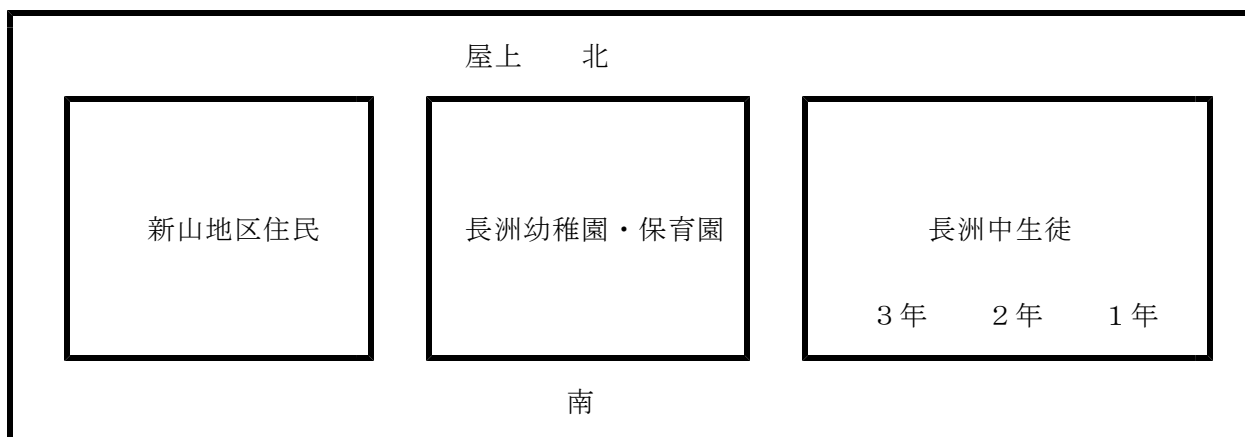
②各学級5人の生徒は、玄関および東門付近で地域住民の避難誘導を行う。

③残りの生徒は、屋上に避難する。

避難した生徒は、体を乗り出して下を覗うことがないように座って待つようにする。

④11時25分になったら、避難誘導をしている生徒も、屋上へ避難するよう指示する。

☆屋上では一番奥に中学生が詰めて、各学級男女1列・南を先頭に集会隊形で整列する。



(4) 避難場所集合

①私語をしない。

②総務は、人員点検をして担任に報告する。(※各学級男女各1列で名簿順に並ぶ)

③総務→担任→教頭→校長

(5) 防災アドバイザーより

(6) 校長先生より

(7) 解散(11時50分)

①各クラス10人は、長洲幼稚園まで誘導・支援を手伝う。

②各クラス5名は、地域住民の階段等での誘導を行う。

③各クラスの残りの生徒は、地域住民や園児が出た後、最後に教室へ戻る。

6 その他

(1) 真剣に訓練に臨むように指導する。

①「津波でんでんこ」「より早く、より高く、より遠くへ」が第一である。

②今回は、津波到達までに時間があることを確認した上での訓練である。

③避難する上での弱者の立場に立って、避難誘導の手伝いを行う。

(2) 11月4日(水)の放課後に次の確認を行う。

①長洲幼稚園まで迎え(送り)に行く各学級10名

②地域住民の避難誘導にあたる各学級5名の生徒

(3) 屋上の扉はマスターで開けることができる。職員室にいる先生が屋上の扉を開ける。

(4) 職員の係

○防災本部長(校長) ○通告(教頭) ○計時(教頭) ○屋上解錠(○○)

○全体指導(□□) ○救護(▼▼) ○屋上での生徒指導(△△)

○園児避難誘導(●● ◎◎ ☆☆)

○地域住民対応(■■) ○11時25分屋上への避難指示(◇◇)

○屋上における地域住民等の対応・パイプイス(▽▽)